

Apple iOS 12.2 デバイスの加入手順について

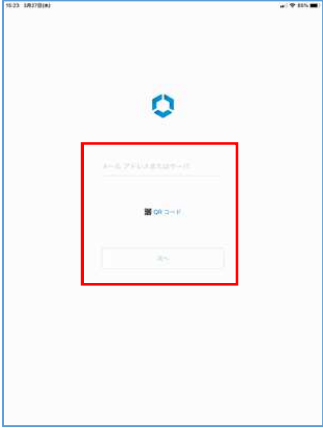
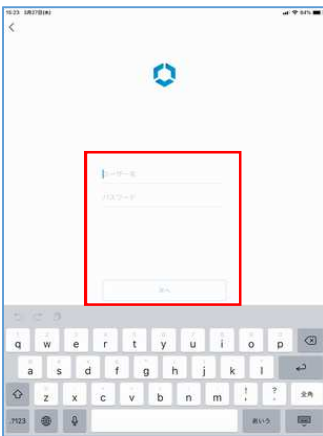
2019/04/02




株式会社ウィザース

Workspace ONE サポートデスク

日本時間 2019 年 3 月 26 日、Apple 社が「iOS 12.2」のアップデート配信を開始いたしました。本アップデートにおいて iOS デバイスのセキュリティ機能が変更された為、Workspace ONE UEM への加入手順も変更されました。変更された Workspace ONE UEM への加入手順について記載させていただきます。

なお、iOS 12.2 より以前のバージョンに関しては加入手順に変更はございませんので、従来通りの加入手順で iOS デバイスの加入を行ってください。

<p>1.</p> 	<p>Workspace ONE Intelligent Hub (Hub アプリ) を起動します。下記いずれかの方法で加入を進めます。</p> <ol style="list-style-type: none">1) サーバーアドレス、グループ ID を手入力2) メールアドレスを手入力 ※サーバーアドレス、グループ ID が自動入力されます。事前に設定が必要です。3) QR コードをカメラから入力 ※サーバーアドレス、グループ ID が自動入力されます。メールでの通知が必要です。
<p>2.</p> 	<p>Workspace ONE UEM のアカウント資格情報を入力し、[次へ]をタップします。</p>

<p>3.</p> 	<p>Workspace ONE Service の説明が表示されます。ご一読いただき、[次へ]をタップします。</p>
<p>4.</p> 	<p>Hub アプリの通知に関する説明が表示されます。[許可]をタップします。</p>
<p>5.</p> 	<p>画面が Safari に遷移し、構成プロファイルのインストール確認のメッセージが表示されます。[許可]をタップします。</p>

6.



ホームボタンを押してホーム画面を表示します。
後、[設定]アイコンをタップします。

次に[設定]アイコン > [一般] > [プロファイル]
の順にタップします。

構成プロファイル [加入]がインストールされてい
ることを確認しましたら、[加入]右側[>]をタッ
プします。

7.



画面右上 [インストール]をタップします。

※「パスコードを入力」画面が表示される場合は、
デバイスのパスコードを入力してください。

8.



[プロファイル] と表示されます。

[インストール]をタップします。

9.



Workspace ONE UEM 加入にあたり、「警告」が表示されます。ご一読いただき、[インストール]をタップします。

10.






リモート管理に関する説明が表示されます。[信頼]をタップします。

11.



構成プロファイルのインストールが完了します。画面右上 [完了]をタップします。ホームボタンを押してホーム画面を表示します。

<p>12.</p> 	<p>Hub アプリを起動します。 [完了]をタップします。</p>
<p>13.</p> 	<p>位置情報利用の説明が表示されます。 お客様の企業ポリシーにより、いずれかをタップしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> この App の使用中のみ許可 Hub アプリがフォアグラウンドで動作していると位置情報を利用します。 常に許可 常に位置情報を利用します。 許可しない 位置情報を利用しません。
<p>14.</p> 	<p>VMware 社におけるプライバシーの取り組み方についての説明が表示されます。ご一読いただき[理解しました]をタップします。</p>

15.



VMware 社へのデータ共有(フィードバック)の協力について説明が表示されます。

ご協力いただけるお客様は[同意する]をタップします。ご協力されないお客様は[今はしない]をタップします。

16.



アカウント画面が表示されます。

Workspace ONE UEM への加入が完了です。

参考：加入操作途中における Hub アプリの表示

加入操作途中に Hub アプリを起動すると加入手順についての説明が表示されます。

	<p>1. [設定]アプリで、[ダウンロードしたプロファイル]を見つけてタップします。 項番 6. の説明となります。</p>
	<p>2. 「Workspace Services」プロファイルをインストールします。 項番 7. の説明となります。</p>
	<p>3. リモート管理を信頼します。 項番 10. の説明となります。</p>

以上